

写真1　上：出展「嘉永、安政時代大江戸絵図」 ㈱アイ・プロジェクト出版部（撮影場所を追記）
下：①国会議事堂と国会前庭の北庭

近隣史跡の紹介

井伊直弼邸跡（前 加藤清正邸）

井伊直弼邸跡（前 加藤清正邸）は、現在、衆議院が管理している国会前庭（国会議事堂前に南北に広がる5万㎡の庭園）の北庭（写真1）となっており、庭内には日本水準原点標庫、憲政記念会館などがあります。桜やハナミズキをはじめ、四季を彩るさまざまな木々が植えられており、また目の前には皇居のお堀（桜田濠）、桜田門、丸の内ビル群を眺めることができます。

江戸時代はじめに加藤清正（1562-1611年）の屋敷があり、のちに彦根藩井伊家の上屋敷となった場所です。明治時代には参謀本部、陸軍省がおかれ、戦後を経て現在に至っています。上屋敷の名残は庭内にありません※が、上屋敷の表門外西側にあった加藤清正が掘ったと伝えられている、名水として知られた井戸「櫻の井」（現在は庭内に移設復元）が残されています（写真2上）。また、桜田濠の付近は江戸の景勝地であったため、幕末期の上屋敷や「櫻の井」を含む一帯の様子が歌川広重の錦絵によって描かれており、当時をうかがい知ることができます。

さて、幕末の大老、井伊直弼（1815-1860年）は「桜田門外の変」などで有名ですが、江戸時代後期の代表的な大名茶人と言われるほど茶道が好きだったそうです。直弼の考える茶の湯をあらわすのに用いた言葉が「一期一会」で、以後、一般にも広く使われるようになったと言われています。

「櫻の井」の名水で“おもてなし”したのでしょうか？　時代が動く日の朝、自らに一服点てたのでしょうか？　色々想像が膨らみます。

参考文献
衆議院（前庭情報）
URL　http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_annai.nsf/html/statics/kensei/zentei.htm
国立図書館（錦絵で楽しむ江戸名所　外桜田）
URL　http://www.ndl.go.jp/landmarks/sights/sotosakurada/
（一社）千代田区観光協会
URL　http://www.kanko-chiyoda.jp/tabid/1724/Default.aspx
井伊直弼と開国150周年祭実行委員会
URL　http://www.hikone-150th.jp/
※東京都世田谷区の豪徳寺にある赤門は、井伊家屋敷門であると伝えられている。



写真2　上：②「櫻の井」
下：③北庭から桜田門・丸の内ビル群を望む

